

昭和学報

昭和女子大学
〒154-8533 東京都世田谷区大田
03(3441)5111
編集発行人 猪熊雄治

夢を叶える

図書館長 江口雄輔

もう二、三年前のこと、送られてきた論文の資料を見てホウと思つた。正確に言うとなら研究集での発表用原稿をプリントアウトしたものだ。発表者はフランス人の日本文学研究者で、集会はアメリカのフライデル

でも日本が見直されるかもしれない、と語つたことがある。英語や仏語に訳された彼の作品は残念ながら「母子像」一冊だが、すでに原作を味読し研究する外国人読者が出現しているわけであ

なく、なんとか本格的な全集を、という声が強くなつた。私も二十年以上前からそうしたい思いを募らせていたが、現今の出版状況を考えると叶わぬ夢と思わざるを得なかつた。

ところが出版社の編集長から、十蘭の全集を作りませんか、という突然の話。ぐつと身を乗り出しつつも即答をためらつたのは、いざとなつたその作業がとつてもな

なるに格別難しい。まにも十蘭の故郷函館に在らず、生前刊行された単行本の研究が埋もれていた本が少なく、初出誌・紙初出誌を発見して提供しをそろえなければならな

こうして企画から準備期間をふくめて足かけ十年、今年の二月に別巻が刊行され、全十一巻と合

わけて『定本久生十蘭全集』が完結を見た。二十年来の夢が叶つたことに

なる。編集者と編集委員が拙宅に集まり、ささやかな祝宴を張つた。この際と奮発したシャンパンで乾杯し、その名もめでたい名酒「天下の春」を口に含みつつ、話はず

日本でも一部に熱烈な愛読者は存在するものの、一般的には知名度の低い十蘭が、海の彼方でアカデミズムの対象となつたのだ。直木賞作家の十蘭だが、文学ジャンルのあえて無視するかの

十蘭は身辺雑記などほとんど残さず、作品だけを私たちのまにに提出して、五十代なかばで生涯を終えた。独特のスタイルをもつた彼の作品に親しんでいると、そのすべ

ところがある出版社の編集長から、十蘭の全集を作りませんか、という突然の話。ぐつと身を乗り出しつつも即答をため

幸いにも旧知の優れた研究者二人と、十蘭作品のコレクターが協力を約束してくれて編集委員会

本文校訂に目をしよばつかせながら、作品の解説・解説を執筆したのは平成十九年からだが、そ

急いでそれを無くなると生さつて、十蘭の遺品を活のペースがおかしくなつた。あれほど難しい

と、よい仲間にも恵まれ一歩また一歩と歩みを重ねて実現をみた。よく「叶

わぬからこそ夢」といわれるが、夢は叶うもの、いや叶えるものもあるのだ。(えぐち ゆうすけ)



久生十蘭



『定本久生十蘭全集』全十一巻 図書刊行会

た企画だつたのだが、元著者権者が協力してくださつて、十蘭の遺品を活のペースがおかしくなつた。あれほど難しい

と、よい仲間にも恵まれ一歩また一歩と歩みを重ねて実現をみた。よく「叶

わぬからこそ夢」といわれるが、夢は叶うもの、いや叶えるものもあるのだ。(えぐち ゆうすけ)

- 今月の昭和学報は インタビューストップ報告……………(2)
- 先輩に聞く!……………(3)
- 歴史・修復学ゼミで 文化財の修復処理支援を実施……………(4)

協定校との遠隔授業がスタート

グローバル人材育成プロジェクトの一環として、ロジエクトの環境として、テレビ会議システムを用いた協定校との授業が



クイーンズランド大学との遠隔授業



上海交通大学との遠隔授業

大学から第二言語習得の研究で有名なマイケル・ハリントン教授による講義が、一〇月八日の国際学科「中国現代史」では、中国の上海交通大学から中国近代史研究で著名な李磊先生による講義が行われ、本学の学生は積極的に意見を述べたり、質問に回答したりした。

秋の特別展 「山梨・茅ヶ岳山麓における縄文時代中期文化の盛衰」

山梨県北杜市諏訪原遺跡の発掘調査成果展

光葉博物館では昨年度に引き続き、学生の学外調査の成果を見ていただく展覧会を企画した。本年度は、人間文化学部歴史学専攻の学生が、山梨県北杜市で実施している縄文時代中期遺跡の発掘調査について紹介する。



SWUPJ3号住居跡出土 底部穿孔刺土器(ていびせんどうしちかきせつこ) (複製)

歴史学専攻の学生が、山梨県北杜市で実施している縄文時代中期遺跡の発掘調査について紹介する。本年度は、人間文化学部歴史学専攻の学生が、山梨県北杜市で実施している縄文時代中期遺跡の発掘調査について紹介する。

(光葉博物館)

インタビュー報告



城南信用金庫

城南信用金庫のインタビューに参加した。配属先の地域発展支援部では、東北を支援する仕事おこしのフェアや就職合同説明会など来年度のフェアの企画考案や、社

埼玉医科大学

埼玉医科大学総合医療センターの医療事務のインタビューに参加した。主に保険制度や診療報酬についての知識を学ぶとともに、患者対応や請求業務などを体験した。医療事務は、それまでに抱いていたイメージとは異なり、診療報酬の知識だけでなく医学などの様々な分野の知識が必要とされる奥の深い仕事であるということが分かった。

東急ストア

東急ストアのインタビューに参加し、接客が利用された買い物かごの回収、商品の品出しと陳列が主な業務だったが、意外と多かったのがお客様の声。作業中のお客様に声を掛けられたら、作業を中断してお客様の話を聞くことが「お客様優先」を大事にする同社の決まりであった。商品の陳列場所はもちろんのこと、商品そのものに関する質問もあり、接客の難しさを痛感した。それで笑顔で「ありがとう」と声をかけてくださるととても嬉しく、接客の楽しさも同時に経験することができた。東急ストアの社員の方々は温かく丁寧な指導してくださり、大変感謝している。(健康 武石英里)

トルストイを訪ねる旅

第一回「トルストイを訪ねる旅」が九月三日(一年四人、二、三年各一人、院生一人)。本学実施され、平尾光司理事の創立とトルストイとの深いつながりを改めて皮膚感覚で実感した。トルストイの眠るヤースナヤ・ポリヤーナを訪れた日は、あいにくの冷たい雨だった。遺言に基づいて盛り土をしただけの質素な墓に、一人ひとり、花を手向けた。百キロ先のニコリスコエ・ヴァーゼムスコエでは、記念講堂前のトルストイ像の原型と対面し、思いを新たにしたり写真。(トルストイ室)

先哲の慰霊祭 一〇月四日

カリヨンの奏鳴とともに、先哲之碑の前で慰霊祭がはじまった。附属幼稚部・初等部・中高部の代表者とともに、大学学友会執行部の一〇名の学生が参列した。昨年七月から今年六月の一年間に逝去された恩師は、福場博保名誉理事

初等部が創立六〇周年

昭和二六年の幼稚部に続き、昭和二八年に初等部が開校。昭和学園は幼稚園から大学にわたる一環教育体系を完成した。今年創立六〇周年を迎えた初等部では、九月二二日、記念式典をグリーン

ホールで開催した。式典では、小泉清裕校長の式辞に続き、平尾光司理事長が挨拶をした。そのほか、児童の代表者によるダンス・吹奏楽の催し物が式典に花を添えた。

リーダーの資質と振る舞いをドイツで体得した夏

九月一日〜二四日、国立青少年教育振興機構が主催する日独学生青年リーダー交流事業に参加した。全国の青少年団体

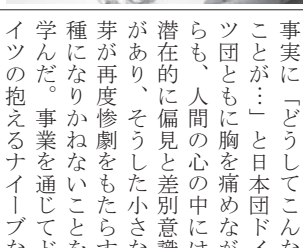
のリーダーで構成される日本団の一員としてドイツのベルリンとドレスデンに滞在し、「若者の社会参画」をテーマに、ドイツの歴史や社会問題、教育事情などを体感した。滞在中は様々な団体を訪

問し意見交換を行った。児童のほとんどが移民という小学校や、問題を抱える子どもたちが集う青少年ハウス、環境自然保護連盟青少年部などである。特に印象的なのは、ラーヴェンスブリュック強制収容所跡で偏見と差別についてドイツ団とドイツスカッシュをしたことだ。強制収容所跡を見学し、ホロコーストの事実について「どうしてこんなことが」と日本団ドイツ団ともに胸を痛めながらも、人間の心の中には潜在的に偏見と差別意識があり、そうした小さな芽が再度惨劇をもたらす種になりかねないことを学んだ。事業を通じてドイツの抱えるナイーブな

問題を目の当たりにしたが、それらに立ち向かっている人々との出会いが、私に明るい未来への希望と勇気を与えた。また、リーダーとして活躍する人々の出会いはとても刺激的であった。白熱した議論を戦わせたし、答えを出す：ワクワクが止まらなかつた。チームのメンバーがワクワクした気持ちをもてるような動機づけが出来るリーダーになることが、私の新たな目標である。ドイツでの貴重な経験と出逢いに感謝しながら、胸を張って彼らと再会できよう、活動していきたい。(ENVVO 野澤智媛)



(合祀者)
 中釜 洋子 先生
 元心理学科非常勤講師
 岡本 光民 先生
 元日本文化史学科特任教授
 飯塚 誠市 先生
 元学生部長 元一般教育体育科教授
 甲斐知恵子 先生
 元国文学科教授
 福場 博保 先生
 名誉理事、名誉学長
 加藤 地三 先生
 元教務部長、元教職科教授



式辞を述べる小泉清裕校長

choco→talk

"choco→talk"は、学報委員によるミニコラム。身近なことから社会現象まで、様々なテーマでお届けします

海外ボランティアに参加して



手作りの遊具で遊ぶ子どもたち

今年の夏休み、カンボジアの小学校で体育を教える活動に参加した。参加動機は、海外の子どもたちと触れ合いたいという単純な思いつきからだった。しかし実際にカンボジアへ行き、活動することで考えさせられることがたくさんあった。

今、カンボジアが必要としているのは教育と教師。学校を建設するボランティア団体は多く、学校は十分に足りているようだった。現在カンボジアで暮らすほとんどの大人たちは、その子ども時代をポルポト政権時代に過ごしている。この時代は教育そのものがなかったため、教育を受けて育っていない。そのため、子どもたちを教育する力がないのだ。そして私たちが当たり前のように受けてきた体育の授業もカンボジアにはない。

私が参加したプログラムは、子どもたちに体育の授業の一環として、準備体操やボールなどの遊具遊び、運動会を行うものであった。初めて行う玉入れや、かけっこをする子どもたちの姿はとても楽しそうに笑顔が溢れていた。この活動をきっかけに、体を動かす楽しさや競技を通じて生まれる団結力や諦めない心を子どもたちが知り、そこから何かを感じて育ってほしい。私に今できることは、こうしたカンボジアの現状を日本に伝えること。そして、現地で体育に限らず、「教育」を伝えることだと思う。今回の活動を通して、教育の大切さを改めて感じた。これで終わらせるのではなく、自分にできることを継続していきたい。(学報委員 眞嶋 優)

学報委員企画 ショッププレリュード

学報委員企画では、昭和女子大学の学生であれば一度は利用したことがあるショッププレリュードをとりあげる。

学科コラボ商品

プレリュードは便利な売店というだけでなく、学科とコラボした商品の販売場所にもなっている。前期に販売された人気の「美」プロジェクト(健康デザイン学科・管理栄養学科)が山崎製パン(株)とコラボした「ランチパック カボナーター」「もっちりもちぎつぷあん

ばん」の二種。「ラタトゥーユ」の次は「カボナーター」が流行る!という学生の一言がきっかけで開発されたこの商品のコンセプトは、「野菜をたくさん食べましよう」。手軽に野菜がとれ、カロリーも低いことから全国販売でも若者に好評だったという。この他、三軒茶屋のパン屋さんとのコラボ商品も学期に一度発売している。こちらも見逃せない。

ドナテロウズ

プレリュードの目玉として開店当初から人気のドナテロウズ。無添加で低カロリーなジェラートが売りだ。定番フレーバーで人気なのは、キャラメルプレッツェルとチョコクッキー。季節限定のフレーバーも人気がある。

最後にイトインスペースは多くの人々が使用できるように譲り合いを心掛けて。販売してほしい商品があれば、要望も受け付けているそうだ。(学報委員 町田瑞貴・親川彩・小嶋夏海・眞嶋優・関口優里)

先輩に聞く! ~学報委員インタビュー~



今回の「先輩に聞く!」は、特別支援学校で教員として働いている健康デザイン学科の卒業生、有賀実里さんにお話を聞きました。

学生時代にしてよかったことは?

いろいろな先生からたくさんお話を伺ったことです。教職課程をとっていたため、学科以外でも多くの先生方と出会う機会がありました。教員資格の勉強では、教育を専門課程としてきた学生さんに比べ、国語や算数などの基礎科目が弱くなりがちだったので、自主的に勉強しました。

反対に、やってあげばよかったと思うことは?

もっといろんな人と知り合うためにも、サークルなどに入ってきかけ作りをしたかったなと思っています。先ほどの質問に関してもそうですが、学生時代に人脈を広げるのは大切だと思います。

教員となった今、学生時代に思い描いていたこととは違う点は?

思っていた以上に楽しいです。生徒たちの純粋な反応が可愛くて、日々楽しく仕事できています。

教育実習や初めての授業などで役立つリラックス法は?

今の自分は生徒たちから見てどう見えるのだろうか、と客観的に考え、ゆっくり話すよう気を付けました。後は、質問に答えてくれる生徒たちの声を聴くよう心がけました。すると、落ち着いて接することができます。もちろん、入念な準備も大事です。

最後に学生へメッセージをお願いします

就活などでくじけそうになった時に諦めずに頑張るコツは、なぜその職業や資格取得を目指しているのかを考え、一度原点に戻ること。そして、夢を叶えた人生の先輩や、同じ夢を持つ友達の話聞くことです。夢を持つ人や叶えた人は、キラキラ輝いて見えますよね。すると、自分も頑張ろうと思えます。私も、やがて高校の教員となり家庭科を教えるという夢を持っています。一緒に夢を叶えられるよう頑張らしましょう。(学報委員 高橋若菜・田中海帆)



先生の研究室訪問 熱意をもって継続しよう

日本語日本文学科准教授 友野清文先生

今回は「優しい」と学生に人気の友野清文先生の研究室にお邪魔した。先生は、「教育原理」や「生徒指導・進路指導」の研究など教職課程の講義を担当されており、日本語日本文学科以外の学生でもご存知の方が多い。

今回は「優しい」と学生に人気の友野清文先生の研究室にお邪魔した。先生は、「教育原理」や「生徒指導・進路指導」の研究など教職課程の講義を担当されており、日本語日本文学科以外の学生でもご存知の方が多い。

また小さい頃からクラシックがお好きだった先生は大学外で合唱団に所属し、卒業後も続けるなど積極的に活動された。そんな友野先生が教育に関心を持ったきっかけは、先輩に自身の体験談を話すことになった時のこと。何をどのように伝えるかについて、非常に悩んだのだそう。この経験とお父様が教員だったこともあり「教育」への関心が高まっていったのだという。

友野先生は奥様とお子さん二人の四大家族。お子さんの育児には、先生も積極的に参加したそう。とても大変だったけれども、その大変さは研究にも良い刺激になった。

友野先生は奥様とお子さん二人の四大家族。お子さんの育児には、先生も積極的に参加したそう。とても大変だったけれども、その大変さは研究にも良い刺激になった。

私たちが、先生の学生時代のように勉学に励まなくては!と強く感じた。(学報委員 佐藤恵菜 多森友衣子)

先輩の北村賞さん、内閣府「女性のチャレンジ支援賞」を受賞

去る八月三十一日、帯広市内において地元出身であり本学短期大学生活文化学科卒業生の北村貴さんの「女性のチャレンジ支援賞」受賞祝賀会が行われた。この賞は、内閣府の男女共同参画会議で決定した「女性のチャレンジ支援策」を基に、平成一六年度から全国で活躍する女性の顕彰を行っている。北村さんらにこの賞にびつたり的人物である。卒業後に多様なキャリアを積み重ねた後起業され、現在はマーケティングやPRを手掛ける(株)グロッシーの代表取締役を務めている。さらに「十勝キャリアデザインネットワーク」を



六月に開催された内閣府の表彰式で、坂東眞理子学長とともに

裏千家茶道部 初等部でお手前披露

裏千家茶道部は、毎週金曜日に三名の先生方から稽古を受けている。最近、日本文化への関心の高さからか、茶道に関するポランティアの依頼が



初等部の家庭科室で



一人一人に所作を教える

設立し、地元女性や地域を応援するための活動を多彩に展開している。その活動の原点は幼少期からあったようであるが、卒業研究では男女雇用機会均等法について取り組み、女性の生き方やキャリア形成等の今日的課題に関心を持ってこられた。現在本学が力を入れている「夢を実現する7つの力」のひとつであるチャレンジ精神が旺盛な学生であったことは、今の北村さんの活躍につながっている。今後はさらに期待される卒業生のひとりである。

(現代 教授 瀬沼頼子 ※生活文化学科時代のクラス主任)

歴史文化学科・文化財修復学ゼミで文化財の修復処理支援を実施

歴史文化学科・文化財保存修復学ゼミでは、八月十九日〜二十三日まで岩手県陸前高田市の旧生田小学校で被災文化財の修復処理支援を行った。旧生田小学校は東日本大震災で被災した陸前高田市立博物館の仮収蔵施設となっており、被災した約二〇万点の資料が保存されている。私は昨年に引き続き二度目の訪問となった。今回は、高田歌舞伎で使用されていたかんざしの修復と、現在は途絶えてしまった年中行事である「まとぶち」は、陸前高田市で難祭りに男子の成長を願う最近まで行われていたこの地方の年中行事。弓矢は、的とセツ

「まとぶち」は、陸前高田市で難祭りに男子の成長を願う最近まで行われていたこの地方の年中行事。弓矢は、的とセツ

トで製作、販売されていた。聴き取り調査は、被災した六つの修復のため実施したものである。弓矢製作を営んでいたお宅を訪問し、製作材料・技法および歴史的背景等を伺った。長時間お話ししたかんざしは、全体が茶色く錆びついて花飾りも押しつぶされていた。錆を丁寧に除去して元の輝きを取り戻したかんざしは、高田歌舞伎の存在を現代に伝える重要な資料であることを肌で実感した。

被災文化財の修復処理活動を通して、地域に根差した民俗資料は復興を願う住民の精神的な支えでもあること、そして、「モノ」だけでなくその歴史的背景や製作技術を含めて未来に遺していく大切さを学んだ。(歴史 松澤 栞)



福祉社会学科留学生も参加したフィードバックワークショップの様子

ENVVO(学生ボランティアコーディネーター)伊那ワイクキャンプに参加して

ENVVO(学生ボランティアコーディネーター)伊那ワイクキャンプに参加して、地域に根差した取り組みを体験した。伊那市では初の開催であり、運営の面で大変なこともあったが、キャンプとして参加者とのコミュニケーションをとり、円滑な運営を心がけた。現地での体験や学習を通じ、地域の方々はもちろん、日ごろあまり接触のない他学科の学生とも交流を深めることができたことは、大きな収穫だ。この取り組みはまだ始まったばかりだが、活動を続ける中で、本格的なサービスマーケティングを進めていきたい。(ENVVO 大和夏紀)

現地での体験や学習を通じ、地域の方々はもちろん、日ごろあまり接触のない他学科の学生とも交流を深めることができたことは、大きな収穫だ。この取り組みはまだ始まったばかりだが、活動を続ける中で、本格的なサービスマーケティングを進めていきたい。(ENVVO 大和夏紀)

学園スナップ 10月10日(木) 英国女王陛下の近衛軍楽隊によるパレードが行われた



DREAM手帳
2014は
来年4月
配布予定

行事予定

- 11月 3日(日) 指定校制・公募制・光葉同窓会推薦入学試験
- 11月 4日(月) 振替休日
- 11月 5日(火) 墓前祭(11:00)
- 11月 6日(水) 留学経験を活かしたキャリア・就職活動支援講座(15:00)
留学生が日本で就職活動をするための支援講座(15:00)
- 11月 8日(金) 秋桜祭準備(一日休講)
- 11月 9日(土) 秋桜祭
- 11月10日(日) 秋桜祭
ホームカミングデー
- 11月11日(月) 秋桜祭片付け(一日休講)
- 11月12日(火) 【文研】田辺京子・ピアノリサイタル(18:15)
- 11月13日(水) 【女教】ジョージ・W・ギッシュ氏
「地球人として生きる世界へ…Global Living Today」(15:30)
- 11月14日(木) 土曜代替日
- 11月15日(金) 月曜代替日
【文研】わらび座 ミュージカル「ブッダ」(18:15)
- 11月16日(土) 第24回メンターカフェ「事務職・営業職について聞いてみる!」(13:30)
- 11月19日(火) 第26回メンターフェア(11:45)
- 11月20日(水) 【女教】渡辺和子氏「置かれたところで咲く」(15:30)
- 11月26日(火) 【文研】古典芸能・落語鑑賞会(18:15)
- 11月27日(水) 学内合同企業説明会(平成26年3月卒業予定者対象)(12:30)
- 11月28日(木) 第27回メンターフェア(11:45)
- 11月29日(金) 第3回就職ガイダンス(18:10)
- 11月30日(土) インターンシップ報告会(13:00)